

多目的交流施設整備方針

多目的交流施設整備のコンセプト

学び＋交流＋発信＋癒し＝宇土市民の絆

- ・ 学び… 知の拠点（知識と知恵）
- ・ 交流… 人が集い交流する場所
- ・ 発信… 情報発信の拠点（最新、専門性、地域文化等）
- ・ 癒し… 心が癒されるサードプレイス

多目的交流施設整備の整備目的

- 1 運動公園等でスポーツをする人の交流拠点
- 2 読書する人が集まる図書館機能
- 3 絵本などの読み聞かせが出来る子育て交流拠点
- 4 幅広い年代が勉強できる学習拠点
- 5 だれでも気楽に立ち寄れる第三の居場所スペース

多目的交流施設整備の基本方針

学び

- 1 誰もが読書に親しみ、学び、知ることができる施設

〔基本方針〕

- ・ 幅広い年代が読書に親しむことができる、本に囲まれる空間
- ・ 気軽に入りやすいと感じる入口
- ・ 静かに読書できるスペースの確保
- ・ 学習スペースの確保
- ・ 個別の読書スペースを配置

交流・癒し

- 2 幅広い世代の市民や多目的の利用者の交流の場となる温かみのある施設

〔基本方針〕

- ・ 利用者の交流を促進するゾーニング
- ・ 気軽に立ち寄れる交流スペース
- ・ スポーツ施設利用者がスポーツの前後に利用しやすい施設環境

交流・癒し

- 3 子育て世代の集いの場となる施設

〔基本方針〕

- ・ 図書館児童室や読み聞かせスペースの確保
- ・ 多目的トイレや授乳室など、子連れで利用しやすい施設環境
- ・ 子どもが声を出して遊べるスペースの確保

交流

- 4 市民と一緒に創りあげる施設

〔基本方針〕

- ・市民の意見や思いを施設整備に反映
- ・装飾作成など施設整備への市民参加

多目的交流施設整備計画

- ・遊技場として使用していた既設建物 A を多目的交流施設として整備を行う。
- ・既設建物 A へは図書機能、交流機能、子育て交流機能を中心に配置を行う。
- ・既設建物 A と一体で使用ができる建物を別棟で新築を行う。これらには、スポーツ交流機能、自由休憩スペース、学習室等を配置する。
- ・既設立体駐車場は周辺施設利用者（運動公園、ジョギングコース、子どもサードプレイス）、多目的交流施設利用者が使用を行う。
- ・車進入路は別紙進入路検討案のように想定を行っているため、立体駐車場からの動線を考慮する。
- ・周辺施設利用者が気軽に立ち寄れる施設とする。

多目的交流施設整備にあたり取り組むこと

- ① 利用しやすく親しみを感じる施設設計
 - (1) 子どもやシニア、障がい者など、全ての人を使いやすい施設
 - (2) 運営面でも使い勝手が良く、効率的な運営ができる施設
 - (3) 利便性が高く、機能性に富んだ空間デザイン
 - (4) 安全性、利便性、機能性に配慮した動線
 - (5) 親しみやすく、統一感のある外観と内装
 - (6) 緑や水路のある周辺環境と調和したデザイン
- ② 事業コストへの配慮
 - (1) 整備コストの縮減
 - (2) 物価高騰などによる事業費高騰リスクに対して可能な配慮と対策を行う。
- ③ 維持しやすく環境に配慮した施設
 - (1) 維持管理がしやすいよう、耐久性に優れた部材やメンテナンス性の高い設備を導入
 - (2) 環境に配慮した設備を導入
 - (3) 建築物・設備の長寿命化
- ④ 市民の意見を幅広く集め、反映した「市民による施設整備」
 - (1) 市民を対象としたワークショップやイベントを実施する。
 - (2) 市民アンケートやワークショップでの意見を取り入れた設計